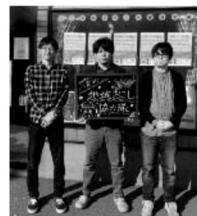


協力隊奮闘日記

協力隊と町民の情報交換

vol.33



これまで多くの町民の皆さんに支えられ、協力隊のミッションとして取り組んできました空き店舗を活用したまちなみの賑わい創出と産業の担い手対策のための検証事業が3月を持ちまして終了します。平成29年7月にオープンした「コミュニティスペースLoughmo(ら・ふも)」は、まちの活性化や産業の人材の確保などを目的として、市中心街地である本町商店街の中心部に位置しており、多くの町民の方と接する機会となりました。多くの町内外の皆さまにご来店いただき、飲食や打合せ、町民の交流の場など多くの用途で使用されてきました。私たち協力隊も「ら・ふも」を活動拠点とし、賑わい創出・物産振興・担い手確保に取り組んできました。まもなく、事業が終了し、「ら・ふも」が3月には閉店となりますが、これまでの取り組みにご協力いただいた皆さまには、厚くお礼申し上げます。

6

人の協力隊がこの事業に携わってきましたが、うち1人は町外での就業、2人は町内うち2人が春に卒業し、それぞれ町内への就業と創業を予定しております。また、取り組みを通じてさまざまな方と出会い、メンバーそれぞれがたくさん勉強させていただきました。卒業後は少しでも皆さんに恩返しができるような形で八雲町に貢献していきたいと思っています。

なお、退任する2人の挨拶は「Kyo-ryoku Times」をご覧ください。

これまで多くの町民の皆さんに支えられ、協力隊のミッションとして取り組んできました空き店舗を活用したまちなみの賑わい創出と産業の担い手対策のための検証事業が3月を持ちまして終了します。平成29年7月にオープンした「コミュニティスペースLoughmo(ら・ふも)」は、まちの活性化や産業の人材の確保などを目的として、市中心街地である本町商店街の中心部に位置しており、多くの町民の方と接する機会となりました。多くの町内外の皆さまにご来店いただき、飲食や打合せ、町民の交流の場など多くの用途で使用されてきました。私たち協力隊も「ら・ふも」を活動拠点とし、賑わい創出・物産振興・担い手確保に取り組んできました。まもなく、事業が終了し、「ら・ふも」が3月には閉店となりますが、これまでの取り組みにご協力いただいた皆さまには、厚くお礼申し上げます。

人の協力隊がこの事業に携わってきましたが、うち1人は町外での就業、2人は町内うち2人が春に卒業し、それぞれ町内への就業と創業を予定しております。また、取り組みを通じてさまざまな方と出会い、メンバーそれぞれがたくさん勉強させていただきました。卒業後は少しでも皆さんに恩返しができるような形で八雲町に貢献していきたいと思っています。

町では寄附をしていただいた町外にお住いの方への返礼品を贈呈することにより、町協力隊として残ることになります。並びに販路拡大による地域経済活性化を図るため、ふるさと納税返礼品提供事業所を募集しています。

【募集事業所の要件】

- (1) 町のPRにつながる商品で、かつ町内で栽培、生産、製造、加工、販売、サービス等いずれかがなされている商品を提供できる
- (2) 町税の滞納がないこと
- (3) 代表者等が、暴力団による不正当な行為の防止等に関する法律に掲げる暴力団の構成員でないこと
- (4) 商品金額は、配送料を除く消費税、梱包等の必要経費

ふるさと納税 返礼品提供事業者 を募集しています

を含めた金額とする
詳細については、政策推進課企画係までご連絡ください。

【問い合わせ先】
政策推進課企画係
☎ 0137-62-2300



八雲中学校男子バスケットボール部
バスケットボール部が第34回北海道中学校バスケットボール大会で全道3位入賞を果たしました。
八雲中学校バスケットボール部は、鹿部町で開催された道南中学校バスケットボール大会において、男女ともに優勝を果たし、12月25日(土)28日に小樽市で開催された北海道中学校バスケットボール新人大会南大会へ出場し、女子は残念ながら予選敗退となりましたが、男子は3位となり、1月13日から江別市で開催された「南北大会」(南・北大会の上位それぞれ4チームが出場)へ出場し、全道強豪チームと対戦し、見事3位入賞の成績を収めました。



ふるさと納税の状況
1月末現在(累計 平成31年4月~令和2年1月)
寄附件数 146,689件
寄附金額 2,374,911,000円